



Title	先生・園児関係から見た遊びと場の創造に関する研究：札幌市の市立幼稚園をケース・スタディとして
Author(s)	吉田, 祥子; 森, 傑; 奥, 俊信
Citation	学術講演梗概集. E-1, 建築計画I, 各種建物・地域施設, 設計方法, 構法計画, 人間工学, 計画基礎, 2004, 961-962
Issue Date	2004-07-31
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/38413">http://hdl.handle.net/2115/38413</a>
Rights	日本建築学会; 本文データは学協会の許諾に基づいて複製したものである
Type	article
File Information	mori-20.pdf



[Instructions for use](#)

## 先生-園児関係から見た遊びと場の創造に関する研究 ～札幌市の市立幼稚園をケース・スタディとして～

幼稚園 遊び 社会性  
先生-園児関係 エスノメソドロジー 場の創造

正会員 ○ 吉田 祥子\*  
同 森 傑\*\*  
同 奥 俊信\*\*\*

### 1 はじめに

幼児にとって、家庭とは異なる生活環境でありかつ初めての社会的環境である幼稚園や保育園における遊びは、幼児が他者と協調し合いながら自己を形成し社会性を獲得していく上で非常に重要とされる<sup>文1)</sup>。

本論は、幼稚園における様々な遊びの中に見られる様々な先生と園児の相互行為をエスノメソドロジーの観点<sup>文2)</sup>から詳細に記述することを通じて、先生と園児の協働による場の創造が、いかに遊びの成立と密接に結びついているのかを明らかにすることを目的とする。そして、札幌市の市立幼稚園における入園初期の園内活動を対象としたケース・スタディを通して、これらの遊びを成立させている先生・園児の様々な「やり方」を先生・園児の遊びのエスノメソッドとして捉えることで、先生-園児関係から見た遊びと場の創造に関しての分析・考察を試みる。

### 2 研究方法

#### 2-1. 調査方法

札幌市の市立幼稚園Aを対象として2003年5月22日から6月27日の26日間、社会性獲得の初段階である3歳児を対象とし、ビデオ撮影によって調査を行った。

#### 2-2. 分析方法

遊びとそれに対応する空間での先生による遊びの進め方の工夫、それに呼応する園児の会話・行動に着目し、それらが顕著に表れている場面を選び出した。この中から、先生・園児の遊びのエスノメソッドを抽出した。遊びは、先生と園児のそれぞれのエスノメソッドが相互に組み合わせることにより、発生・発展・移行・終結する。そのような遊びの流れの中で、先生・園児の遊びのエスノメソッドとその組み合わせがどのように場の創造に繋がり、遊びが成り立っていくのかという分析を行った。

### 3 分析結果

#### 3-1. 保育室における「かくれんぼ」

先生の「[行為の提示]・[場の提示]」により「かくれんぼ」を保育室で行うことが提示されると、園児達は「[座位～立位]」に変わる。この時園児が先生の言葉によって遊びの開始を認識するが、先生が「隠れる場所をつくるからね」と「[行為の提示]」を行うことで、隠れる「場の構築」が始まる。「ここも隠れられそうだね」と「[場の提案]」をし、ヒントを与えながら「[固定家具の利用]」や「[可動家具の移動]」によって隠れる「場の構築」をしていく。これにより園児は隠れる場を理解し、先生の提案を受け入れ、「[共働]」することで隠れる行為に適合する(図3-1)。

#### 3-2. ホールにおける「かくれんぼ」

先生は、「行ってはいけない場所」一つ一つに「[理由付け]」をしながらその場まで行き、「[仕切り]」をすることで隠れる「場の限定」する。ここで先生は、隠れる場を提案することはしない。それに対して園児は遊びを「[共働]」しよう

とするが、隠れる場を自分で見つけることに適合した園児と、見つけることに適合できずステージ前で小さくなった、隠れてはいけない場所に隠れてしまう園児がいた(図3-2)。

#### 3-3. 保育室における「お屋さんごっこ」

「お屋さんごっこ」では、視覚的にお店屋さんとして「[見立て]」するために「[可動家具の導入]」を行い、それを「[回転]」し、さらには「[追加]」することで店を徐々に拡大し、最後には教室全体を店に「[見立て]」していく。このように家具の活用の仕方によって、様々な規模のお店の「場の構築」をしていながら遊びを繰り返すことで園児が遊びを修得していくことから、可動家具が「お屋さんごっこ」を成り立たせる上で大きな役割を担っていることが分かる(図3-3)。

#### 3-4. ホールにおける「おいかけっこ」

「おいかけっこ」では、段差やアルコーブなどによってリズムのある場とそれを繋ぐステージの上やホールの中央などの単調で開けた場を活用し、リズムのある場では「[たまり]」の行為がなされ、単調な場では「[移動]」の行為がなされ、空間の特徴に合わせた行為により「場の限定」がなされる。それらが組み合わせることにより、「おいかけっこ」から、逃げる・つかまりそうになる・再び逃げるという一連の駆け引きが含まれた遊びに発展する(図3-4)。

分析結果として、特に場の創造が顕著に見られた4つの例を以下に挙げる(表1)。

表1: 空間・遊び別の遊びの性質と意味

遊び空間	かくれんぼ	お屋さんごっこ	おいかけっこ
保育室	(場の構築) <sup>*11</sup> → (場の誘発) <sup>*21</sup> 図3-1	(場の構築) → (場の理解) 図3-3	—
ホール	(場の限定) → (場の理解) 図3-2	—	(場の限定) → (場の誘発) 図3-4

\*11 ( ) は遊びの性質 \*21 ( ) は遊びの意味

### 4 考察

分析結果について空間の視点から考察するため、(a)異なる空間での同じ遊びおよび(b)同じ空間での異なる遊び、に着目して検討した(表1)。

#### 4-1. 異なる空間での同じ遊びについて

##### (1) 「かくれんぼ」

3-1と3-2の例では、遊びの開始において、「場の構築」と「場の限定」という異なったエスノメソッドとその組み合わせを用いており隠れる行為に差が見られるが、どちらの場合も隠れる行為から隠れている他の園児を見つけて先生と「[共働]」するようになり、次第に園児達が「[先導]」し自発的に見つける行為を行うようになっていくことから、隠れる場を認識できたことがわかる。したがって「場の構築」によって園児に隠れる場の選択肢を広げてあげ、「場の理解」を促すこと、「場の限定」によって隠れる場を園児自身によって発見させ「場の誘発」

を促す「かくれんぼ」を繰り返すことで園児による「かくれんぼ」が確立していく(図3-1・図3-2)。

#### 4-2. 同じ空間での異なる遊びについて

##### (1) 保育室

保育室は長方形の単調な空間で、家具も棚などの可動家具だけであり、遊びを誘発する空間ではない。3-1と3-3の例より、保育室における遊びは、可動家具を利用し[行為の提示]や[見立て]を視覚的に表し遊びの(場の構築)をすることで、遊びの「場の理解」を促す。この時、遊びの場が変化することで遊びが発展するなど家具の活用による「場の創造」が遊びに与える影響は大きく、それによって園児に遊びと場の定着をさせ、遊びを修得させていく(図3-1・図3-3)。

##### (2) ホール

ホールは段差やアルコーブ、ベンチなどの固定家具、分散して置かれた可動家具により多様な行為を誘発しやすい空間となっている。3-2と3-3の例より、ホールにおける遊びは、可動家具を導入するなどして意図的に場をつくり出すのではなく、既存の形態や家具を活用することで遊びを発生・発展・移行させていく。リズムのある形態の場では隠れる・たまりなどの「停滞」の行為がなされ、それを繋ぐ単調で開けた場では走る・移動などの「流れ」の行為がなされる。このように空間の特徴に合わせた様々な行為を行うことで(場の限定)をし、園児に遊びの「場の誘発」を促し、遊びと場の定着をさせていく。この相反する場を連続させる「場の創造」によって園児に積極的・

主体的な遊びを修得させていく(図3-2・図3-3)。

#### 5 まとめと今後の課題

分析の結果、先生と園児は同じ遊びであっても遊ぶ場が異なる場合には異なる遊びのエスノメソッドとその組み合わせを用いており、また遊ぶ場が同じである場合には遊びが異なっても共通の遊びのエスノメソッドとその組み合わせを用いていることが明らかとなった。このことは、遊びのエスノメソッドが、常に空間と一体となった意味でもって実践されていると言える。また、遊びは、あらかじめ用意された遊びの種類によって形式的に実行されているのではなく、むしろ、その場その時での先生-園児関係に即したエスノメソッドとその組み合わせによって柔軟に展開されていると言える。

今後は、先生と園児による遊びだけではなく、園児同士の関係が構築されていく過程で、園児が先生との経験を通して得た遊びのエスノメソッドによって、どのように場を創造し、遊びを積極的・主体的につくりあげていくのかということも視野に入れ、調査・分析を重ねていきたい。

#### 参考文献

- 文1) 佐藤将之・西出和彦・高橋鷹志、遊び集合の移行からみた園児と環境についての考察～園児の社会性獲得と空間との相互関係に関する研究 その2～、日本建築学会計画系論文集、第575号、29-35、2004。  
 文2) 森傑・舟橋國男、「教室リ・モデルでの教育実践にみる空間活用の方法に関するエスノメソッドロジー」に対する討論、日本建築学会計画系論文集、第572号、217-218、2003。

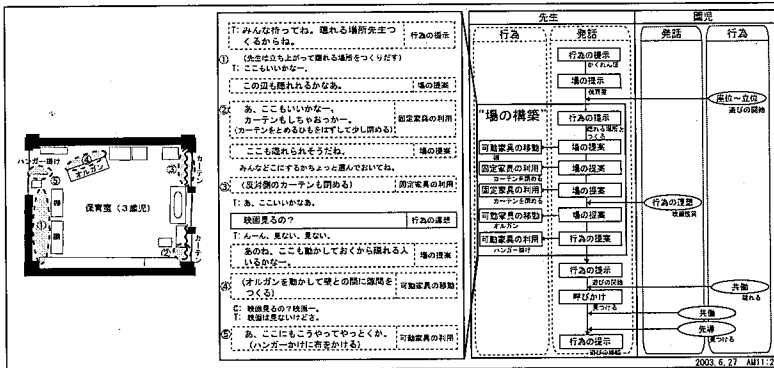


図3-1: 保育室におけるかくれんぼ

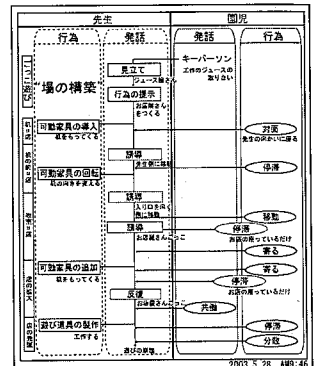


図3-3: 保育室におけるお部屋さんごっこ

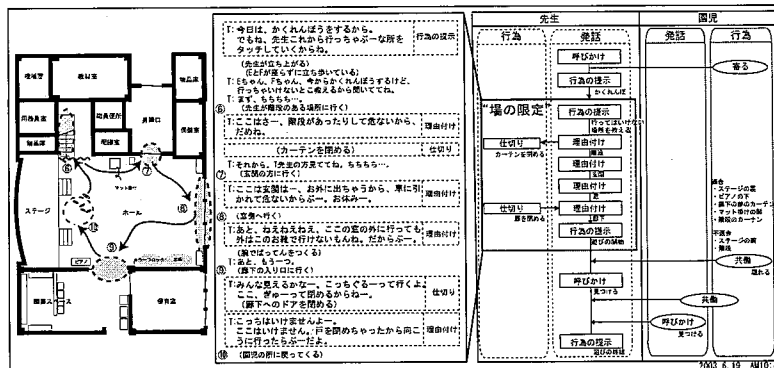


図3-2: ホールにおけるかくれんぼ

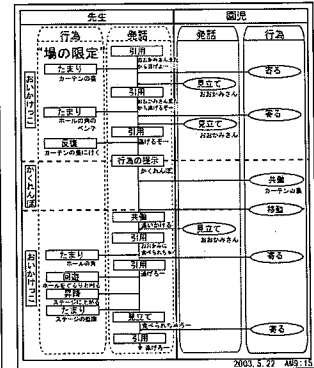


図3-4: ホールにおけるおいかっこ

\* 北海道大学大学院工学研究科都市環境工学専攻修士課程  
 \*\* 北海道大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 助手・博(工)  
 \*\*\* 北海道大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 教授・工博

Graduate School of Engineering, Hokkaido University  
 Instructor, Department of Urban Environment Engineering, Graduate School of Engineering, Hokkaido University, Ph.D. in Eng.  
 Prof., Department of Urban Environment Engineering, Graduate School of Engineering, Hokkaido University, Dr. Eng.